

1 支部活動の状況

令和7年度北海道公立学校事務職員協会石狩支部総会は、令和7年5月15日から22日まで審議機関を設けて、書面審議で実施しました。

令和6年事業報告、決算報告及び監査報告、令和7年度事業計画及び予算、役員改選を審議し、可決されたことを受け、支部活動をスタートさせました。

(1) 令和7年度総務会計部事業計画

ア、各部との連携

各部との連絡調整を密にし、事業の円滑な運営遂行に努め事務を処理する。

イ、役員間の連携

費用対効果を考慮し、メール等の活用による協議を行うとともに、必要に応じ役員会を開催する。

ウ、会計

予算の適正かつ効率的な執行に努める。

(2) 令和7年度調査研究部事業計画

ア、活動方針及び調査研究部の体制

・活動方針

複数年かけて、徐々に活動を活発化させ、コロナ前の状態まで回復することに重点を置き、会員の要望を積極的に反映させ、活動を行う。

・研究部の体制

従来のような体制にはこだわらず、現時点で最適な活動体制を積極的に採用し、気軽に参加できる体制を目指す。

イ、事業計画

研究部員からの意見・要望を明確に確認し、今、最も望んでいるものが何なのかを把握し、単なる実績のための活動ではなく、やって良かったと感じられる有益な活動となるように計画を推進する。

ウ、活動計画

調査研究部会

(3) 令和7年度広報厚生部事業計画

ア、活動方針

学校事務を行う活力の増進を図る事業を実施するとともに、広報誌等により各会員の相互交流を図る。

イ、事業計画

① レクの実施

種目及び開催時期を検討し進める。

② 広報誌の発行

広報誌「青鷺」第77号（令和8年3月下旬発行予定）

2 支部役員一覧

支部長 佐藤 紀康
副支部長 鎌田 光浩
副支部長 江島 出
監 事 高宮 正俊
監 事 宮川 幸輝
各部長 (調整中)

3 年間行事

令和7年 5月 石狩支部総会 (書面審議)
10月 支部レクリエーション事業
令和8年 3月 広報誌発行
*支部研究協議会については実施時期未定

4 学校数・会員数

高等学校	38校	196名
特別支援学校	19校	82名 (うち分校5校)
合計	57校	278名

5 支部の特色

石狩は札幌市を中心に6市1町1村よりで構成され、当支部は、学校数及び会員数ともに道内で最多となる協会最大の支部となっております。

しかし、支部活動の中心となる調査研究については、活動が停滞気味となっており課題となっています。

年1回のレクリエーションではボウリング大会に多数参加し、とても盛り上がっております。